

株主の皆様へ

「ひと・もの・心」を大切に



第97期 中間事業報告書 平成24年4月1日▶▶平成24年9月30日



中越パルプ工業株式会社

証券コード：3877

経営理念

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくれます。

Contents

・経営理念	1	・連結財務諸表	7
・トップメッセージ	2	・会社概要	9
・トピックス	5	・株式の概況	10



代表取締役社長
原 田 正 文

皆さまから真に愛され、
求められる企業創りをめざして、
さらに独自性を強化し、
「中パらしさ」の実現に
取り組んでまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第97期第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業概況につきましてご報告いたします。

当上半期におけるわが国経済は、震災復興需要による公共投資などの下支えがあったものの、依然として個人消費は回復の兆しを見せず、さらに欧州債務危機をめぐる金融不安や長期化する円高などの影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

紙パルプ業界におきましては、国内における紙の需要減少にますます拍車がかかるとともに、一方で大量の輸入紙が国内市場に定着するなど、企業を取り巻く環境は、従来にも増して予断を許さない状況にあります。

このような状況のもとではありますが、当社グループは産業用紙や特殊紙などの得意分野に力を注ぐほか、「竹紙」、間伐材配合紙などの環境配慮型製品のさらなる開発、実用化を推進し、当社グループの独自性の強化に努めてまいります。

当上半期の業績

当上半期における紙の販売状況は、ロンドンオリンピック開催などによる新聞用紙の需要増加があったものの、商業印刷、出版用途の需要が低調に推移したことに加え、輸入紙の定着により、印刷情報用紙分野では大幅に減少いたしました。こうした販売減少による収益悪化に対処するため、「プラス30計画」によるコスト削減をさらに推し進めるとともに、大幅な生産調整の実施による在庫コストの圧縮にも努めました。

その結果、連結売上高では44,581百万円に対前年同期比12.5%の減収となりました。また連結経常利益は、減販・減産によるコスト悪化の影響により120百万円に対前年同期比90.6%の大幅な減益となりました。この危機的状況の打開に向けて、「プラス30計画」の必達に取り組むとともに、新たなコスト削減対策を強力に推進してまいります。

「プラス30計画」の取り組みとその成果

連結経常利益50億円を確保できる企業体質構築に向け、平成22年下半年からスタートしました「プラス30計画」は、本年度が達成の最終年度です。

グループ全従業員が力を結集して取り組んでまいりました結果、当上半期では20億円のコスト削減を達成しております。

当下半期においてはさらにスピードを上げ、達成に向けて取り組んでまいります。

【プラス30計画】 実績額





直面する課題と取り組み

紙パルプ業界においては、IT化の進展に伴なう紙の需要構造の変化が加速し、国内市場はますます縮小傾向に向うことが予想され、各メーカーの生き残りを懸けた競争は今後さらに激しさを増してくるものと思われます。

当社グループとしても、この厳しい競争に勝ち抜くための企業体質の強化が喫緊の課題となっています。このためまず、平成24年7月1日付けで当社連結子会社である中越物産株式会社と鹿児島興産株式会社の合併を実施し、さらに平成24年8月1日付けで当社連結子会社である中越パッケージ株式会社を株式交換によって完全子会社化し、グループ経営の効率化を図りました。

また、より一層お客様の立場に立ったサービスを展開し、将来に向けた独自性の強化と、より戦略的な営業政策の推進を目的に、営業部門の組織改訂を去る10月21日付けで実施いたしました。

併せてパルプ生産最大化・安定操業によるエネルギーの効率運用を図るため、パルプ販売促進室を設置し、工場全体の効率操業・安定操業を図り

ながら、パルプ増産による収益確保に取り組んでまいります。

新分野への挑戦

当社独自の環境配慮型製品である「竹紙」、間伐材配合紙については、新分野への展開を図るべく、研究開発を行い製品ラインナップの充実を図ります。

また開発部門を強化し、研究開発を進めてきた新素材「セルロースナノファイバー」の実用化、市場開拓を積極的に展開し、従来の“紙パルプメーカー”という枠にとらわれず、新たな中越パルプグループの企業価値の創造に努めてまいります。

今後とも、株主の皆さまのご期待にこたえるべく、“真に愛され、求められる企業”創りに取り組み、「中paraしさ」を希求してまいります。

引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新たな価値の創造

新素材の創生、「竹紙」の可能性をさらに追い求め、新たな企業価値を創造します。

●21世紀の新素材“セルロースナノファイバー”

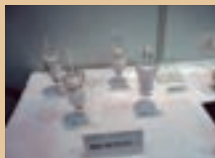
木質資源の新たな価値の創造を目指し、新素材セルロースナノファイバーの実用化・製品化に向けた研究開発を進めています。

セルロースナノファイバーは全ての植物の基本骨格物質で、軽量ながら優れた強度等を備えた21世紀の新素材です。

去る10月に開催された名古屋プラスチック工業展では多くの産業分野にこの最先端素材の可能性を発信しました。



出展ブースの様子



セルロースナノファイバー

●竹の活用 さらなる可能性を求めて



RIO+20 “竹紙”の取り組み”説明の様子

当社独自の環境配慮型製品である「竹紙」は、昨年12月に行われました国内最大の環境展示会「エコプロダクツ2011」で最高位の農林水産大臣賞を受賞。

当社の取り組みが高く評価

されました。

また今年6月にリオデジャネイロで開催された「国連持続可能な開発会議」(RIO+20)のサイドイベントで、「竹紙」の取り組みが日本における好事例として政府により紹介されました。

“いつか世界に誇れる紙へ”という「竹紙」に込めた想いを伝える一歩となりました。

今年10月に開催された2012東京国際包装展では「竹紙」の新たな価値の創造をテーマにさまざまな用途への展開を発信。新規需要、新たな市場開拓を目指しております。



「竹紙」製品ラインナップ

「竹紙」のもつ無限の可能性を追求し、本業を通じた生物多様性保全の取り組みをこれからも継続してまいります。

●環境問題、地域・社会貢献の取り組み●

地域の皆さまとともに歩む“中パ”を目指し、さまざまな社会貢献活動を展開します。

●里山物語



贈呈式にて

証明書付きの国産間伐材を活用した寄付金付き印刷用紙「里山物語」は多くの企業・団体の方にご採用いただいております。

この度、3回目の「里山物語寄付金による団体支援活動」として長野県松本市郊外の古民家を拠点に原発事故に伴う避難者の支援を行っている民間団体「手をつなぐ3.11信州」

に古民家の維持管理のための資金として寄付しました。

「里山物語」は印刷用紙に一定の寄付金を付与。その寄付金はNPO法人「里山保全再生ネットワーク」を通じて、里山における生物多様性の保全に取り組む団体



等に活用されます。

環境問題に関心のある皆さまが「里山物語」を活用することで、荒廃する里山の保全、生物多様性の保全に参画することになります。

●ちくりん参上



ちくりん参上

「竹紙」PRのマスコットキャラクターとして誕生した“ちくりん”。

鹿児島県においては各種イベントで地域の皆さまとふれあい、親しみある“中パ”をPRしています。

ちくりんの活躍の舞台はついに鹿児島を飛び出し、東京、富山へと広がり、各地で大活躍しました。皆さまに愛される“中パの顔”として、さまざまな活動を展開していきます。

●スポーツを通じた地域貢献

富山県では“スポーツを通じた地域貢献”という新たな取り組みを行っています。サッカーJ2リーグ カターレ富山、野球BCリーグ 富山サンダーバズ、バスケットbjリーグ 富山グラウジーズに協賛し、青少年の育成、地域活性化の取り組みに参画しています。

カターレ富山とコラボレーションした企画も実施。ファンとのふれあいで当社をPRしました。またイベントではちくりんが大活躍しました。



カターレ富山ホームゲームにブースを出展

●薩摩川内の竹を寄贈

“高岡七夕まつり”に今年も薩摩川内市の竹を寄贈しました。今年で3回目の寄贈となります。寄贈に際



寄贈した竹の受入の様子



セレモニーの様子

し、高岡市より感謝の意をいただき、オープニングセレモニーでは竹の大使として“ちくりん”が招待されました。

●中パの森

企業の森づくり活動の一環として、鹿児島県、富山県の社有林を整



中パの森開所式の様子



林内散策の様子

備した“中パの森”。
鹿児島県では本年3月に開所し、地域の皆さまに、里山の大切さを学ぶ場としてご活用いただいております。富山県では、来年の開所に向け整備を進めています。中パの森を広く開放し、地域の皆さまに森とふれあっていただくことで、環境保全、生物多様性の保全に取り組む当社の姿勢を伝えてまいります。

●かぐやの竹利用応援事業

富山県における竹利用・里山整備等の推進を助成する「かぐやの竹利用応援事業」を今年度も実施しております。昨年より7団体多い、51団体からの応募がありました。



贈呈式の様子



寄付したラッピングカー

第13回とやま森の祭典では、前回のチップパー機に続き、ラッピングカー1台を富山県に寄付しました。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

1総資産について

受取手形及び売掛金が2,204百万円減少した一方、現金及び預金が3,192百万円増加したことなどにより流動資産が996百万円増加、有形固定資産が2,061百万円、投資有価証券が1,343百万円減少したことなどにより、前期比2,104百万円減少しております。

2負債について

支払手形及び買掛金が1,739百万円減少したことなどにより、前期比1,390百万円減少しております。

3純資産について

利益剰余金は配当金の支払465百万円と四半期純利益197百万円の差引きなどで275百万円減少、株式市場の低迷によってその他有価証券評価差額金が368百万円減少したことなどにより、前期比714百万円減少しております。

連結貸借対照表 (要約)

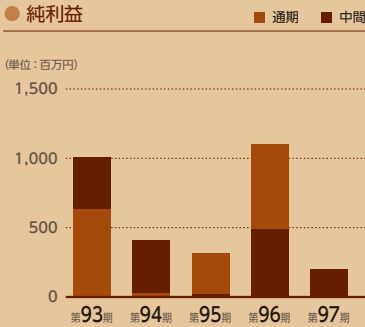
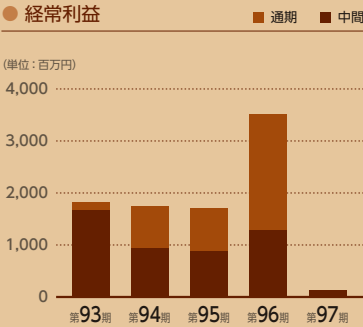
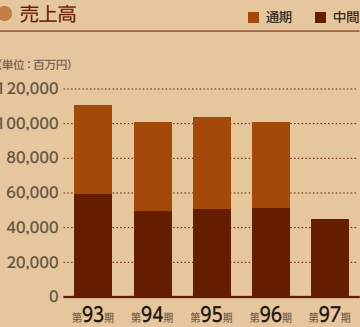
(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成24年9月30日	前期末 平成24年3月31日
資産の部		
流動資産	49,730	48,734
固定資産	81,072	84,173
有形固定資産	74,874	76,935
無形固定資産	320	163
投資その他の資産	5,877	7,074
1 資産合計	130,803	132,907
2 負債の部		
流動負債	56,046	57,508
固定負債	25,272	25,201
負債合計	81,319	82,709
3 純資産の部		
株主資本	49,589	49,845
資本金	17,259	17,259
資本剰余金	14,651	14,654
利益剰余金	17,699	17,974
自己株式	△ 21	△ 43
その他の包括利益累計額	△ 106	304
その他有価証券評価差額金	△ 92	275
繰延ヘッジ損益	△ 13	28
少数株主持分	0	49
純資産合計	49,483	50,198
負債純資産合計	130,803	132,907

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights



連結損益計算書（要約） 4

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成24年 4月 1日から 平成24年 9月30日まで	前第2四半期 平成23年 4月 1日から 平成23年 9月30日まで
売上高	44,581	50,954
売上原価	36,235	41,095
売上総利益	8,346	9,859
販売費及び一般管理費	8,146	8,493
営業利益	199	1,365
営業外収益	247	277
営業外費用	326	360
経常利益	120	1,283
特別利益	393	149
特別損失	254	611
税金等調整前四半期純利益	259	820
法人税、住民税及び事業税	74	147
法人税等調整額	△ 13	186
法人税等合計	60	333
少数株主損益調整前四半期純利益	198	486
少数株主利益	1	1
四半期純利益	197	484

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約） 5

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成24年 4月 1日から 平成24年 9月30日まで	前第2四半期 平成23年 4月 1日から 平成23年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,765	4,895
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 768	△ 2,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 795	△ 2,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10	△ 1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,192	441
現金及び現金同等物の期首残高	6,037	1,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,229	1,652

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

4 連結損益計算書（要約）について

紙・パルプ製造事業ではロンドンオリ
ンピック開催などによる新聞用紙の需要
増加はあったものの、商業印刷、出版用
途の需要が低調に推移したことに加え、
輸入紙の定着により印刷情報用紙の販売
が大幅に減少しました。そのため前年四
半期比で大幅な減収となりました。経常
利益は、減販・減産によるコスト悪化の
影響により、前年四半期比で大幅な減益
となりました。

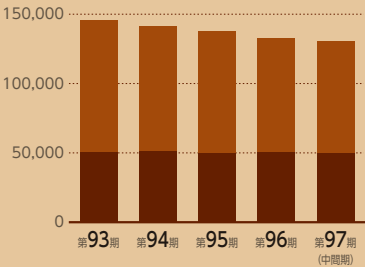
5 キャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間の税金等調整
前四半期純利益259百万円と減価償却費
4,919百万円などを中心とする営業活動に
よるキャッシュ・フロー4,765百万円を主
に設備の支払などに768百万円（投資活動
によるキャッシュ・フロー）、配当金の支払
などに795百万円（財務活動によるキャッ
シュ・フロー）、それぞれ充当いたしました。

● 総資産/純資産

■ 総資産 ■ 純資産

(単位：百万円)

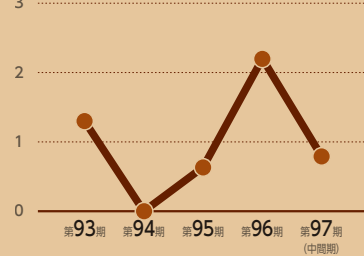


● ROE

● ROE

(単位：%)

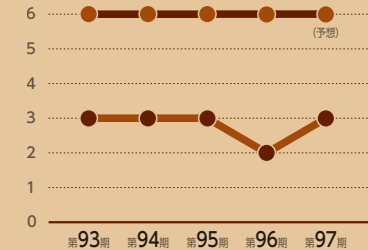
当中間期のROEの計算については、
純利益を2倍にして計算しております。



● 配当金の推移

● 通期 ● 中間

(単位：円)



会社概要 (平成24年9月30日現在)		役員 (平成24年9月30日現在)	
商号	中越パルプ工業株式会社	取締役 (兼執行役員)・監査役	
本店所在地	東京都中央区銀座二丁目10番6号	代表取締役社長	原 田 正 文
創業	昭和22年2月	専務取締役	加 藤 明 美
資本金	17,259百万円	常務取締役	高 田 悟 司
グループ従業員	1,726名	常務取締役	菅 田 友 宣
主要な事業内容	◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹紙等の製造ならびに販売	取締役	姥 島 文 夫
事業所	東京本社	取締役	古 田 清 隆
	高岡本社	取締役	高 岸 伸
	大阪営業支社	常任監査役(常勤)	村 島 和 夫
	福岡営業所	監査役(社外)	平 戸 恭 一
	名古屋営業所	監査役(社外)	野 田 晃 子
	北陸営業所		
	川内工場		
	高岡工場		
	生産本部 二塚製造部		
グループ概要	紙・パルプ製造事業	その他関係会社	
	中越パッケージ株式会社	Acacia Afforestation Asia Co., Ltd	
	株式会社文運堂	New Zealand Plantation Forest Co., Ltd	
	三善製紙株式会社	有限会社南薩緑化センター	
その他の事業		九州紙管株式会社	
	中越緑化株式会社	中央紙工株式会社	
	中越物産株式会社	石川紙工株式会社	
	中越ロジスティクス株式会社	エヌシー共同開発株式会社	
	中越テクノ株式会社		
	共友商事株式会社		
	共同エステート株式会社		

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

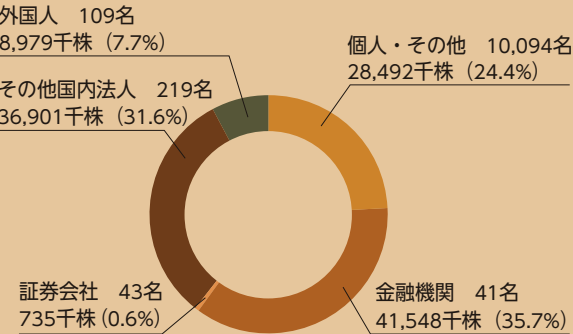
発行可能株式総数	450,000,000株
発行済株式の総数	116,654,883株
株 主 数	10,506名

大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子製紙株式会社	10,539	9.04
日本紙パルプ商事株式会社	7,106	6.09
日本トラस्टィ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,822	5.85
株式会社北陸銀行	5,735	4.92
新生紙パルプ商事株式会社	5,648	4.84
国際紙パルプ商事株式会社	5,341	4.58
株式会社みずほコーポレート銀行	4,013	3.44
農林中央金庫	4,013	3.44
日本トラस्टィ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	3,955	3.39
三井住友海上火災保険株式会社	2,364	2.02

(注) 千株未満は切り捨てて表示しております。

所 有 者 別



第96期定時株主総会における
議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主数	7,385名
議決権の数	115,963個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,399名	148名	2,547名
議決権行使個数	80,743個	12,427個	93,170個
行使率	69.6%	10.7%	80.3%

3. 議決権行使結果

	賛成数	反対数	棄権数	賛成比率
第1号議案 剰余金の処分の件	91,249個	66個	0個	97.94%
第2号議案 取締役7名選任の件				
原田 正文	88,222個	3,199個	0個	94.58%
加藤 明美	88,930個	2,491個	0個	95.34%
高田 悟司	88,952個	2,469個	0個	95.36%
菅田 友宣	88,954個	2,467個	0個	95.37%
姥島 文夫	88,956個	2,465個	0個	95.37%
古田 清隆	88,863個	2,558個	0個	95.27%
高岸 伸	88,907個	2,514個	0個	95.32%

賛成数は、事前行使における賛成数と当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数を合計したものです。

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して
定めます。

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたしま
す。ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告をすることができない場合は、日本経
済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および 三井住友信託銀行株式会社
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

各種お問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京 市場第一部

ホームページのご案内

当社ホームページに、最新トピックスほか当社の
IR情報を随時発信し、ご提供しております。

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>



用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙
100ナチュラル100g/m²」を使用し
ております。



表紙

鹿児島県薩摩川内市「川内川花火大会」



中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401

